

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料

公表: R6年 3月 1日

事業所名 大阪発達総合療育センター ゆうなぎ園

	チェック項目	回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	はい	出席人数、活動に応じて部屋の使い方を工夫しています。	
	2 職員の配置数は適切である	はい	法令を遵守し、支援内容に応じて職員体制を工夫しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	いいえ	2階にありエレベーターがありませんので、保護者と協力して安全に配慮しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	はい	支援は目標を設定し、実行し、振り返りを行っています。	さらに、環境面、効率の良い施設運営など業務改善を進めます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	はい	研修会、行事などアンケートによりご意見をいただき改善に努めています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	はい	施設内に掲示、法人ホームページにも掲載しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	いいえ		法人と相談していきます。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	はい	法人全体、部署内、外部研修などの機会を作っています。	支援に反映できる研修会に積極的に参加していきます。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	はい	子ども、保護者のニーズを確認し計画を立案しています。	変化に応じた変更をタイムリーに行っていきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	はい	コミュニケーション、言語発達を中心とした評価を行っています。	社会能力検査の導入を検討していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	はい	チームで活動内容を検討しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	はい	年齢、季節なども含めて楽しめる活動を企画しています。	新しい情報を取り入れ、楽しめる活動を工夫していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	はい	平日、休日、長期休暇に支援を提供しています。	それぞれに応じた課題設定は、これからさらに検討していきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	はい	状況とニーズに応じて、個別・集団活動を組み合わせ計画しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	はい		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	はい	振り返りを次回に活かすように心がけています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	はい	支援者と保護者で共有するようにしています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	はい	定期的にモニタリングを実施し、計画を見直しています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	はい	さまざまな経験ができるよう工夫しています。		

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	いいえ		まだ、サービス担当者会議の実施はありませんが、必要時は担当者が参加します。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	いいえ	学校との情報交換は、保護者を介したり、直接お話ししたり、訪問を通じて行っています。送迎は行っていません。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	はい	必要時には、連絡を取るようになっています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	はい	就学前から利用していただいているので、情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	いいえ	その年齢の方を対象とはしていません。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	はい いいえ	児童発達支援センターとして運営しています。必要に応じて研修を受けています。	外部で企画される研修についても必要に応じて参加を進めていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	いいえ		兄弟支援も含め、地域のイベントへの参加など、利用者のご希望に応じて考えていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	はい	子ども部会にも参画しています。	子ども部会にて、保健福祉課や地域施設と連携を進めていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	はい	保護者と、都度お話し、共有しています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	いいえ	就学前には保護者の研修会を実施しているが、放デイでは個別で保護者支援を行っています。	集団での保護者勉強会など、ご意見ご希望に沿えるよう検討してまいります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	はい		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	はい	相談事に応じて担当者、管理者などが相談に応じるようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	いいえ	父母会は作っておりません。	保護者どうしの連携の場を考えていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	はい	苦情受付窓口の設置、説明を行っています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	はい	法人の会報、連絡メールイン스타그램で発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	はい	個人情報の保管をしっかりと行う、写真などの撮影時はご説明するようにしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	はい	言語聴覚士が中心となり、コミュニケーション支援を行っている。	コミュニケーション支援内容の更新を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	いいえ	挨拶はしているがご招待はできていない。	ご招待できる活動や行事を検討していきます

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	はい	作成しているが、保護者への周知が足りていないように思う。	保護者が閲覧できるよう設置します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	はい		適切な災害訓練について、外部専門家に相談しながら進めていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	はい	法人全体で研修を実施しています	外部研修、職員アンケートでの自己での振り返りを行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	はい		身体拘束が必要な場合は、保護者に説明します。必要な場合は、適時見直しをします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	はい		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	はい		ヒヤリハットの経験を共有し、次の事故を未然に防げるようにしていきます。